

主 要 施 策	都市基盤の充実による住みよいまちづくり
施 策 の 柱	13 水の安定供給と水洗化の促進
施 策 の 分 類	住みよい環境

■ 現状と課題

○町の上水道

町の上水道では、将来にわたって良質な水の安定供給を図るため、昭和63年から浅瀬石川ダムを水源とする津軽広域水道企業団より受水し、鶴田町浄水場の配水池へ貯水され、各家庭へと給水されています。

○老朽配水管と老朽施設

漏水事故等の被害拡大に至らないよう、老朽配水管の布設替えを計画的に進めることや大地震等の災害時でもライフラインとして、配水を確保できる施設の整備が必要です。

○鶴田町の污水处理施設

町の公共下水道や集落排水は、複数戸からの生活排水を管渠で集め処理する集合処理方式で、現在整備中の水元地区が完成すると計画区域全域で整備済となります。

しかし、今後は污水处理施設等の老朽化に対する計画の見直しが必要です。

○水洗化の普及

公共下水道事業や集落排水事業の計画的な整備に伴い、水洗化の普及が課題となっています。

★上水道給水戸数状況【平成22年度 上水道事業 決算より】

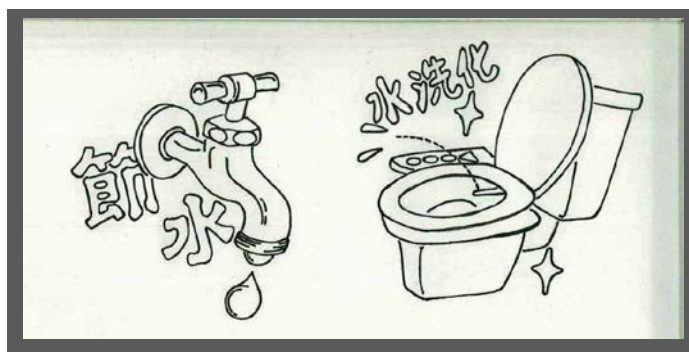
給水戸数	平成21年度	4,426戸
	平成22年度	4,421戸

★公共下水道水洗化人口状況【平成22年度 公共下水道事業 決算より】

水洗化人口	平成21年度	3,040人
	平成22年度	3,077人

★農業集落排水水洗化人口状況【平成22年度 農業集落排水事業 決算より】

水洗化人口	平成21年度	2,651人
	平成22年度	2,636人



■ 目指す姿（基本方針）

- 災害に強いライフライン（※１）を構築して、安全・安心で良質な水が、安定供給できるまちを目指します。
- 「鶴田町の污水处理施設整備構想」を基に、水洗化の促進に努め、より快適で暮らしやすいまちを目指します。

※１ ライフライン…英語で「命綱」の意味であるが、日本ではおもにエネルギー施設、水供給施設、交通施設、情報施設などを指す言葉で、生活に必須な設備を示す。

■ 施策の内容

- 「鶴田町の污水处理施設整備構想の見直し」を作成し、地域社会の構造変化に対応した効率的かつ効果的な施設整備に努めます。
- 老朽配水管の布設替えに取り組み、災害時の迅速な復旧を目指すための配水管網図の整備を進めていきます。
- 大地震にも耐えられる浄水施設の耐震化や配水池を新設することにより、災害に強い、安定した水の供給体制に取り組みます。
- 下水道の計画的な整備を進め、水洗化の加入促進により、生活環境の向上を図るとともに、河川、水路の水質を維持することによって、優れた自然環境の保全に努めます。

担当：建設整備課

* 下水道の役割

川や下からくみ上げられた水は、私たちの暮らしの中や工場などで使われます。

使われて汚れた水は、そのまま流すと川が汚れてしまうので、浄化センターできれいな水にして、ふたたび川に戻すのが下水道の役割です。

下水道の整備によって、水洗トイレが使えるようになると、私たちの暮らしを快適にすると同時に街の中のいやな臭いやハエ、蚊の発生もなくなり街が清潔になります。